

重要取組シート

農業委員会事務局

取組項目		円滑・確実な委員会運営	
現状・課題		<p>農業委員会の活動は、市民の営農経済活動等に対し直接の影響があるため、法令に規定された事務について、遅滞なく確実に実施しなければならない。</p> <p>そのため、委員が参加しやすい総会運営、委員の実地活動における安全確保や効率性の向上を図る必要がある。</p>	
取組の内容		<p>Web会議の開催などにより、多様な委員が参加しやすい総会運営。</p> <p>また、委員の担当区域における農地の確認業務においても、安全確保や業務の効率化につながるICT(AI、ドローン、衛星システム等)の導入について、国が開発を進める農業委員会サポートシステムとの親和性も勘案し、実地活動の安全性向上や事後処理業務の効率化を検討。</p>	
スケジュール	前期 (~7月)	<input type="checkbox"/> 総会等の円滑な実施(毎月) <input type="checkbox"/> 農業委員会総会でのWebシステム試行(4~6月) <input type="checkbox"/> 農業委員会総会へのWebシステム導入(7月) <input type="checkbox"/> 新委員の就任、新委員への研修(7月) <input type="checkbox"/> ICTの導入事例調査(先進事例の調査等)(4~7月)	
	中期 (~11月)	<input type="checkbox"/> 総会等の円滑な実施(毎月) <input type="checkbox"/> ICTの事例調査を踏まえ、導入の可否を検討・決定(8~10月) <input type="checkbox"/> ICTを導入する場合は予算要求措置(10月) <input type="checkbox"/> 委員への事例研修等(随時)	
	後期 (~3月)	<input type="checkbox"/> 総会等の円滑な実施(毎月) <input type="checkbox"/> 委員への事例研修等(随時)	
	次年度以降	<input type="checkbox"/> R5年度の進捗状況に合わせて具体的な取組を実施・継続	
進捗の状況	前期 (~7月)		
	中期 (~11月)		
	後期 (~3月)		
2025 堺市基本計画	該当する施策	4-(7)次世代につなげる農業の促進	
	寄与するKPI	市内で採れた食材を食べていると答えた人の割合(概ね6か月以内)[現状値:42.8%(2019年度)]	目標値(2025年度) 55.0%
未来都市計画 堺市SDGs	最も貢献するSDGsのゴール	ゴール番号 2	飢餓をゼロに
	寄与するKPI	市内で採れた食材を食べていると答えた人の割合(概ね6か月以内)[現状値:42.8%(2019年度)]	目標値(2023年度) 50.0%